

消火活動を体感 東方小で消防団と防災を学ぶ

6月6日、東方小で防災についての学習が行われました。同小出身の消防団員など13人が参加し、児童の前で規律動作や校舎へ向けて放水を披露。その後、児童も防火衣を着用して放水を体験しました。同小6年の橋満竜晴くんは「大人になって機会があれば地域を守る消防団に入りたい」と話していました。



第4分団第7部の橋満竜晴部長は「7部の団員は皆東方小出身。将来は消防団に入って、地域に貢献してほしい」と話していました

難易度高い曲で成果を披露 小林市民吹奏楽団が定期演奏

6月16日、小林市民吹奏楽団の定期演奏会が文化会館で開催されました。第一部では、「マゼランの未知なる大陸への挑戦」など難易度の高い曲を演奏。第二部では大河ドラマ「平清盛」のテーマ曲や「オペラ座の怪人」などポピュラーな曲を披露し聴衆を魅了しました。



▲演奏会の最後に園村正晴団長は「これからも市民に愛されるバンドとして活動していきたい」とあいさつしました。



メンバーは牛乳のほか、簡単に作れておいしい「牛乳もち」を持参し、飲むだけでなく食材にもなる牛乳をPRしました

父の日は牛乳を贈ろう 酪農家が市長を表敬しPR

6月4日、市酪農青年女性連絡協議会のメンバーが父の日キャンペーンで市長を表敬訪問しました。これは、父と乳をかけ、父の日のギフトに牛乳を定着させようとPRするもの。同会の黒木英教会長は「父の日に定着して、牛乳をみんなに飲んでもらえたら」と話していました。



杉田康之校長は、「教室の勉強以外を教えてくれるプロが地域にはいっぱいいる。技術と一緒に顔と名前も憶えて」と呼びかけました

地域や家族も教育現場に参加 西小林小でふれあい体験活動

6月10日、西小林小学校で学校、地域、家族が一体となった学習を行うふれあい体験活動がありました。地域のボランティアや教諭など32人が講師となり、9つの講座を開講。全児童と家族が、昔のものの作りやニュースポーツ、太鼓演奏などの講座に参加し、講師の技術や知識を学びました。

生涯学習で生きがいづくり 高齢者学級が初の合同開級式

5月22日、文化会館で高齢者学級合同開級式と演芸大会が開催されました。学級生や関係者ら180人が参加した式で、6年ぶりに復活した永田町など6学級の新学級長に認定証を授与。演芸大会では、ゲストのハーモニカクラブや東方保育園児、宮崎県警察本部音楽隊の演奏や、学級生が歌唱や舞踊を披露しました。



多彩な芸が披露された高齢者学級の演芸大会。各学級では、生涯学習の一環として、2月までさまざまな講座が開かれます

マンゴーも加えて新スタート 第1回メロン・マンゴーフェア

6月2日、のじりこぴあで第1回メロン・マンゴーフェアが開催されました。昨年で20回を数えたメロンフェアに、今年から完熟マンゴーを加えてリニューアル。市価より安く販売されるめろめろメロンと完熟マンゴーを求めて4千人が来場し、2万1千個がほぼ売り切れる盛況となりました。



大角正廣実行委員長は「マスコットのめろめろくんも誕生した。宣伝に追いつけるよう安心安全な商品を提供していきたい」と話していました



たいふそのともこ 大部園智子教育委員がひとりひとりに委嘱状を交付。「学力向上は教育の最重要課題。県一を目指してほしい」とあいさつしました。

優れた授業のノウハウを教師 間で共有の財産に

5月25日、中央公民館で小林市校内学力向上モデル委員委嘱状交付式がありました。特に質の高い授業を実践している教師などが推薦され、モデル委員に委嘱。今年は31名が委嘱を受け、授業の公開や教材の紹介などを行い、教師の授業力向上につながる取り組みを進めていきます。



昨年も大雨により、土砂災害が多発しています。家庭にある防災マップで避難所や備えを確認しましょう

大雨の時期を前に連携を確認 災害危険箇所パトロール

5月23日、災害危険箇所パトロールが行われました。これは、大雨の時期を前に土砂災害や河川の増水による浸水が想定される場所を行政が警察や消防、自衛隊とともに把握するためのもの。29人が参加し、市内5カ所で想定される災害や地域の状況を確認しました。